

平成29年度

# 特別支援教育の推進について ～通級指導教室開設にあたって～

特別支援教育コーディネーター  
通級指導教室担当  
砂山 和美

## 【主な内容】

- 1 通級について
  - (1) 「通級による指導」とは？
  - (2) 指導の実際
- 2 交流及び共同学習について
- 3 障害に対する理解学習について

# 1 通級について

## (1) 「通級による指導」とは？

通常の学級に在籍する

比較的軽度の障害のある児童生徒に対し、

その障害の状態に応じて、

週に1時間～8時間（単位時間）の範囲において

特別の指導を行う教育形態

本校→24時間／週（基本 一人2時間／週）

# 通級形態

主に3種

- 自校通級 (←本校)
- 他校通級
- 巡回通級

# 対象者は？

- 一 言語障害者
- 二 自閉症者
- 三 情緒障害者
- 四 弱視者
- 五 難聴者
- 六 学習障害者
- 七 注意欠陥多動性障害者
- 八 その他障害のある者で、この条の規定により特別の教育課程による教育を行うことが適当なもの

学校教育法施行規則第140, 141条が根拠規定

# 通級による指導を受ける条件

(1) 規定にある障害を抱えて困難な実態があること

※ 知的障害は含まれない

(2) 通級指導教室での学習を保護者が希望し、合意が得られること

(3) **専門的・総合的な判断（教育支援委員会）**により、通級指導教室への入室とされること

# 「特別の教育課程」と「みなし」の規定

## 第141条

「特別の教育課程」を編成

→通級による指導で受けた授業を、  
在籍する小学校における教育課程に  
係る授業と「みなす」ことができる。

# 必要な公簿類

各担任に関わるもの・・・

- 個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成
- 指導要録に記入
  - ・通級による指導の授業時数
  - ・指導期間
  - ・指導内容・結果等



## (2) 指導の実際

### ▶ 指導形態

○ 個別指導

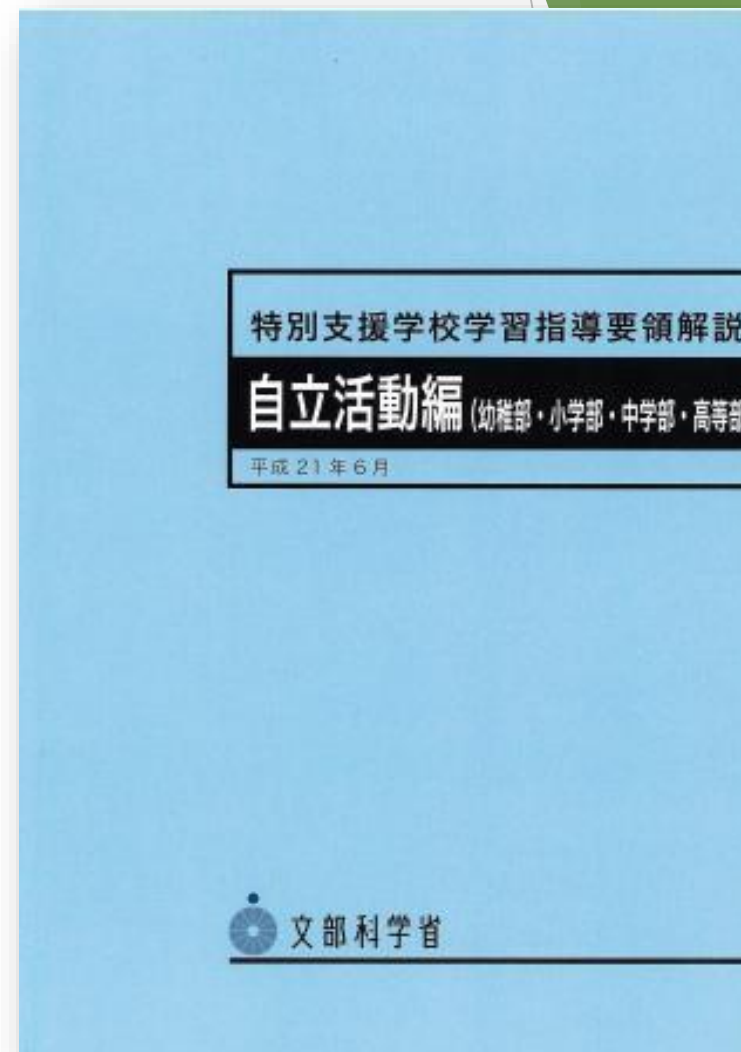
○ 小グループ指導 (3～6名)

# 指導内容

## 自立活動

6領域 26項目

- 1, 健康の保持
- 2, 心理的な安定
- 3, 人間関係の形成
- 4, 環境の把握
- 5, 身体の動き
- 6, コミュニケーション



～特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編～ より

例えば・・・個別指導の場合

▶ ADHD

○ほかの人がしていることを邪魔してしまう（衝動性・多動性）

① **要因をさぐる**

- ・ 行動・欲求のコントロールができない？
- ・ 自分の行動が振り返られない？

② **指導の内容（組み合わせる）**

- ・ 感覚統合の運動遊び（脳の抑制力を高める遊び・プランニングの力を育てる遊び）
- ・ ルールを知る（他の人がしていることの邪魔をしてはいけない）
- ・ ロールプレイ（相手の表情・気持ちを考える）
- ・ モニタリング（ビデオ等で自分自身の行動・周囲の状況を振り返る）
- ・ ソーシャルスキルトレーニング

# 例えば・・・小グループ指導の場合



5年（4名）

「野外活動の荷物の準備を，一人でしよう！」

- ・ 必要なものを用意する
- ・ 種類毎に仕分け
- ・ 入れる場所を決める（すぐ使うものは，ここ！）など
- ・ 時間内に，必要なものを出す・入れる

# 通級指導で心がけたいこと

- ▶ ①みんなが入りたくなる通級教室づくり
- ▶ ②他児との交流を図るための工夫
- ▶ ③自立活動に特化した遊びの工夫

☆何より担任の協力と応援する学級の雰囲気大切

## 2 交流及び共同学習について

### ▶ <小学校学習指導要領> (平成20年3月告示)

#### 第1章 総則 第4の2

(12) (略) 障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習や高年齢者などとの交流の機会を設けること。

▶ → 障害のある子どもと障害のない子どもが活動を共にする機会を積極的に設けるよう示されている

# 交流及び共同学習を展開していく上で・・・

▶ ★ 互いに必要性・意義等について理解し合えるように  
(通常学級担任・児童 ↔ 特別支援学級担任・児童)

①両者の成長につながることを共通理解する

どのような教育効果があるのか明確に！

②両者が話し合う機会を計画的に確保

活動の意義・ねらい・接し方の共通理解を！

③目標の達成度についての評価 (毎時間)

自立活動・教科のねらい

### 3 障害に対する理解学習について

#### ▶ 【基本姿勢】

障害の有無にかかわらず、  
共に育つ仲間として  
共感し合える心と、  
互いの人権を尊重する態度を養う



# 通常学級側からの見方

自分達のクラスメイト！

★互いに認め合い、  
仲間として共感できるように！

(例) 「何のためにあるの？」

→ 「○○さん・くんが学びやすい環境で、  
個々に合わせた必要な学習をするためだよ」

(眼鏡があると見えやすい, 手立てがあると分かりやすい・・・と同じ)

# 特別支援学級側からの見方

★社会の**一員としての自覚・仲間意識**が  
もてるように！

**自分達のクラスメイト！**

★特別支援学級だけでは得られにくい  
**多様な生活経験**ができるように！

★個々の課題を再確認し，指導を見直す！

別紙参照「交流学級の先生へお願い」

# おわり

